

# J A R L

## 宮城県支部報

第 3 号

昭和 54 年 9 月 23 日 発行

発行 日本アマチュア無線連盟宮城県支部  
編集発行 責任者  
JA7CCR 高山博之  
仙台市福室字産興10の9

### 昭和 53 年度支部事業をふり返って

昨年の J A R L 役員改選により支部長の重任を仰せつかり、諸先輩、並びに各クラブ代表者、支部役員の御協力を得まして、この一年着々と支部事業を進め得ましたことは、皆様の御支援の賜と、深く感謝申し上げます。

これからも引き続き、支部の健全な発展のため、会員相互の親睦と無線技術の向上を図り組織の強化につとめたいと思っております。このためには、会員の皆様の進歩的な御意見をいただき、連盟がとりくんでいる諸問題に幾分なりとも寄与するため微力をつくしたいと考えております。よろしく御鞭撻の程お願い申し上げます。

さて昨年一年間をふり返って見ますと、多数の行事を盛り込みましたが、不慣れの面が多く、やゝ盛り上りを欠く結果となってしまいました。

こゝにその主なものについての御報告を申し上げます、又、所見を申し上げたいと思います。

#### ○支部大会について

昨年は約 150 名程の参加者を得てブラザービルで実施しました。平素、電波のみでおつきあいしている方々が一堂に会し、話し会えることは、誠に有意義な事と思えます。たゞ、JA1ANG 米田 OM をお招きしてオスカーのお話しを伺う予定だったのですが、お仕事上の都合によりおいでいただけなかったのが残念でした。今大会には氏の多忙な日程を宮城県支部のために無理にさいていただき、皆様と共に氏の熟達したお話を伺うことが出来ますのは誠にありがたく喜ばしい事と思えます。支部大会は J A R L 会員はもとより J A R L 非会員であっても、アマチュア無線を趣味とする一員として皆様に

#### J A 7 C C R 高 山 博 之

開放されたアイボール Q S O の場であり、親睦を深め、建設的な意見を交換してアマチュア無線の発展に寄与できる機会となりうればこの上ない喜びであります。

#### ○オール宮城コンテストについて

仙台クラブの全面的な協力のもとに本年 1 月 13, 14 日に第 1 回目を実施しました。このコンテストはハンディキャップ コンテストが前身になっており、プリフィックスによりマルチプレイヤーの計算に変化を持たせ、ニューカマーの参加者の得点を上げやすくしてあります。単に得点のみを上げるだけでなく開局されたばかりの方にもコンテストのやり方や面白味を味わってもらいたいと言うのが主旨です。本年はたまたま支部役員会議と日時が重なり、OM の O N A I R が少かった様ですが今後はそのような事のないよう注意したいと思えます。

#### ○2 アマ国試受験対策講習会について

今年は仙台放送教養学園で 3 月 24, 25 日の 2 日間にわたり行ないました。前々から上級アマの講習会を実施して欲しいと言う声は多いのですが、いざ開いてみると 16~17 名程度と甚だ低調なのが残念です。来年 3 月 22, 23 日にも実施する予定ですので是非多数の方の参加をお待ちしております。

#### ○マラソンコンテストについて

このコンテストは V H F, U H F 帯の電波で運用している方々の Q S L カードの発行率を上げることが目的として始めたものです。今年は 4 月 1 日から一週間実施しましたが、すでに Q S L カードを交換されている方も多く、その意

味あいも薄れ非常に低調でした。ログ提出局は10局のみであり、その目的はすでに達せられたものと考え、本年をもって中止とします。

○宮城非常通信訓練コンテストについて

過去10年程前に数回本格的な非常通信訓練を実施したのですが、近年「県庁の防災無線が完備したのでアマチュア無線の非常通信訓練は必要がない」との達しにより実施しないでおりました。しかし昨年宮城県地震により交通マヒ、停電、電話の不通、断水、崖がずれetcさらに死者27人と言う犠牲まで出たことは生涯忘れることの出来ない事実であります。当局側が何と言おうと窮地にある人々を助けることは我々の使命であり、公共の電波を使用するアマチュア無線家にとっての責務でもあります。

今年はこの宮城県地震を教訓として6月12日に第1回宮城非常通信訓練コンテストを行いました。本格的な訓練が良いのか、コンテスト型式が良いのか大分考えましたが多数の方の参加を望みたいのでコンテスト型式にしました。内容的に15字の電文を送受するのは甚だわずらわしい事かも知れませんが、この主旨を御理解いただき今後とも末永く続けていきたいと思っております。

※非常通信訓練コンテストで使われた電文一部紹介

ジシガキタラ、マズヒノシマツ	優等生
キョウハアツゾビールガウマイ	ナンバー
ボウサイハヒゴロクンレンカラ	心がまえ
ブロックベイガケンチカヨルナ	君主危きに近よらず
イツマデツツクノカインペーダー	インペーダーで大分
タガイニシーキュウオウトウナシ	損をしたらしい
デンキモナケレバムセンモデキス	オーバーパワー
サイガイハ、ワスレタコロニクル	バッテリーの用意
ロクガツハナヨメシアワセナヒビ	忘れないようにしよう
イナカノヒトハ、ハヤグネサイン	？
	都会の人は朝寝坊

○今後の事業について

支部の行事は各種考えてはおりますが、なるべく地域クラブではできないような大きな行事を考えております。各地域クラブに於きましても、アマチュア無線を趣味とする者ならだれでも参加できるような楽しい行事をもっと進めてもらいたいと思っております。支部としても出来るだけ御援助したいと思っておりますので御意見、御希望

をいただければ幸いです。

○U・VHFの運用についての所見

昨年1月1日より、U・VHFのバンド使用区分が各周波数にわたり、全面的に施行されましたが、皆様方に特になじみの深い2mバンドについて、私見を述べたいと思っております。

このプランが施行されてから1年9ヶ月になりますが、今だに賛否両論で各エリア共それぞれけんけんがくがくのありさまです。

幸い当宮城県地域では良くこのプランが守られており大変喜ばしいかぎりです。しかしながら145.00から145.825までの大変な混雑に比べ144.00から145.00の1MHzは何時間いてもがらがらで1~2局の運用しかないのが現状です。周波数の有効利用を呼びながら、この様な状態を見るのは甚だ心苦しく残念でなりません。10年後、20年後の状態を考えてプランを決定したものが、現状に窮するのであれば何の意味があるのでしょうか。さらに2mのFMバンドを狭めて435MHz帯、1200MHz帯の利用を計ることを目論だ訳ですが、甚だひねくれた考え方です。

良くHF帯のCWとフォーンバンドを設定した時のことを例に上げて説明される方がいますが、HF帯はJARL制定と言っても外国との関連上、自然発生的に決定されたものであり、アマチュア局1人1人の使命感から盛り上げてきたものです。したがってHF帯とは電波の性質も違うし比較にもなりません。

かりにこのプランが電監から提示されたものであったらJARLとしてはどの様に対処するのでしょうか。

問題はJARLと言う組織以上に我々アマチュア無線家1人1人に関係し利害につながる事です。JARL制定と銘打って40万アマチュア局を強制する以上この辺で見なおしをする必要があります。

以上私の考えの一部を述べましたが、現実にはさからうことはできません。皆様方でこのプランを正しく守って運用されることを望むとともに、問題をアピールしていただきたいと思っております。私も本部の方に何かにつけ改善方を働きかけて行きたいと思っておりますので何とぞ御協力と御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

昭和53年度決算報告

(自53.4.1~54.3.31)

収入	
前年度繰越	127,590
支部費	513,000
雑収入	3,811
計	644,401

支出	
支部大会費	161,915
会議費	146,860
催物費	69,481
通信費	20,850
交通費	5,100
消耗品費	220
支部報発行費	61,680
事務印刷費	62,220
コンテスト費	40,750
雑費	5,450
計	574,526
翌年度繰越	69,875

昭和54年度予算(案)

(自54.4.1~55.3.31)

収入	
前年度繰越	69,875
支部費	608,000
計	677,875

支出	
支部大会費	170,000
会議費	150,000
催物費	189,875
通信費	30,000
交通費	15,000
消耗品費	10,000
支部報発行費	35,000
事務印刷費	30,000
コンテスト費	40,000
雑費	8,000
計	677,875

昭和53年度行事实施状況

53.4.1~5.31	宮城マラソンコンテスト	結果既報
7.30	クラブ代表者会議	仙台にて
8.19,20	東北地方本部会議	田沢湖町
8.22	支部役員会	仙台にて
11.3	公開運用	中央卸売市場
12.24	チャリティークリスマスパーティー	(後援)
54.1.13,14	オール宮城コンテスト	ログ提出110局 結果既報
1.14	クラブ代表者会議	仙台にて
3.24,25	2アマ国試対策講習会	仙台にて 参加17名

昭和54年度行事予定

54.4.1~4.8	宮城マラソンコンテスト	実施済
6.12	非常通信訓練コンテスト	実施済
7.1	クラブ代表者会議	実施済
9.23	支部大会	仙台市民会館
9.23	自作品コンテスト	支部大会々場
11.3	公開運用(JA7RL)	卸売市場
55.1.12,13	オール宮城コンテスト	( <sup>1</sup> / <sub>12</sub> 21.00 ~ <sup>1</sup> / <sub>13</sub> 12.00)
1.20	クラブ代表者会議	
3.22,23	2アマ国試対策講習会	

宮城県支部登録クラブ名簿

登録番号	クラブ名	代表者	登録番号	クラブ名	代表者
06-1-1	石巻クラブ	JA7FC 北角栄一	06-2-3	仙台一高	JH7TYM 紺野昭男
" 2	気仙沼クラブ	JA7KND 白幡森一	" 4	東北工業大学	JH7KTF 斉藤修一
" 3	古川クラブ	JA7KC 赤間操	" 5	東北学院大工学部	JH7INB 木村昭幸
" 4	仙台クラブ	JA7JRV 木陽一	" 6	仙台電波高専	JH7DWU 小野寺浩
" 5	塩釜クラブ	JA7KP 渡辺一夫	" 7	仙台二高	JH7MRK 遠藤敏正
" 6	くりこまクラブ	JA7KOJ 高橋一	" 8	仙台園学校クラブ	JH7CUU 伊藤敏正
" 7	名取クラブ	JA7WQF 伊藤潔一	06-4-3	NJDXC	JA7AD 神尾栄
" 8	蔵王クラブ	JA7NNC 馬場光俊	" 5	ぬどいもクラブ	JA7JED 伏見守
" 9	登米クラブ	JA7LN 大畑新一	" 6	I・E・C 各本統	JH7QLQ 高野栄
" 10	岩沼クラブ	JA7IJ 大崎新太郎	" 7	ブルースカイ仙台 ハムクラブ	JH7WYA 松金二博
06-2-1	東北大学				
" 2	東北学院大学無線 技研	JH7SJF 三河正修 児玉			

昭和54年度オール東北コンテスト結果(入賞者)

※印は県内の入賞者

○個人シングル

1.9 MHz	1位	JA7JXA
3.5 MHz	1位	JH7TIP
	2位	JR7GXR
7 MHz	1位	JA7CVQ※
	2位	JA7XNV
	3位	JH7RXY
14 MHz	1位	JH7FWC/7※
21 MHz	1位	JR7DDY※
	2位	JR7GWC※
	3位	JR7AAB※
28 MHz	1位	JA7TQK※
	2位	JH7UJU※
50 MHz	1位	JA7OWD/7
	2位	JH7UJY/7※
	3位	JH7S J F※
144 MHz	1位	JR7ALX/7
	2位	JH7OZS

3位	JA7EPC※	
430 MHz	1位	JA7LLF
1.2 GHz	1位	JA7BB

○CWマルチ

1位	JA7DLE
2位	JA7PCH※
3位	JA7DUD

○マルチバンド

1位	JH7TIX※
2位	JR7HOX
3位	JH7GXU/7※

○登録クラブ対抗

1位	東北学院大学工学部通信部※
2位	仙合一高ハムクラブ※
3位	八重洲無線アマ無線クラブ

○SWL マルチ

1位	JA7-10340 ※
2位	JA7-7710

昭和54年度非常通信訓練コンテスト結果

○印は入賞者

3.5 MHz	①	JH7KND	180	13	JA7HQI/7	サマリーなし	
21 MHz	①	JH7AXI/7	140	マルチバンド	①	JA7MRW	240
	2	JA7TYF	45		②	JA7GDI	200
	3	JA7SWL/7	28		③	JH7TYM	196
	4	JA7UDM	12		4	JR7GWC	190
	5	JR7ADZ/7	サマリーなし		5	JA7JS	160
28 MHz	①	JH7UJU	140		6	JH7NKG	133
50 MHz	①	JA7EVP	60		7	JA7BBS	126
	2	JR7AYH	56		8	JR7JYT	105
	3	JR7ATC	1		9	JH7CLX	60
144 MHz	①	JH7OJB	396		10	JH7KCY	56
	2	JA7HOQ	370		11	JH7FYJ	28
	3	JH7WQX	231		12	JR7KLO	18
	4	JH7BFL	210	クラブ対抗	①	塩釜クラブ	1,389
	5	JA7HUB	150		2	仙合一高	196
	6	JH7VLA	128		3	名取クラブ	195
	7	JR7IFF	127		4	仙台圏学校クラブ連合	140
	8	JH7OHI	45		5	岩沼クラブ	126
	9	JA7FFV	42		6	くりこまクラブ	60
	10	JH7VRU	21		7	仙台電波高専	54
	11	JH7LKO	4		8	古川クラブ	42
	12	JA7AEM	4		9	石巻クラブ	4

昭和54年度宮城マラソンコンテスト結果

(実施 4月1日09:00~4月8日09:00)

50 MHz	①	JR7HOD	464	JR7ISJ	496		
		JH7WUE	432	JR7FHN	280		
		JR7HVT	344	JH7LKO	160		
		JR7HOD	192	マルチ	①	JA7PCH	2,256
		JR7AHU	49	435 MHz	エントリー者なし		
144 MHz	①	JR7GWC	520				

①印は入賞者